



AWS Elemental Link

1x 1GbE RJ45 PoE, 1x 3G-SDI, 1x HDMI

AWS Elemental Link は、カメラや動画制作機器などのライブ動画ソースを AWS Elemental MediaLive に接続するデバイスです。Link デバイスは、安全かつ確実に動画を AWS Elemental MediaLive に転送し、視聴者に配信するための設定不要でコスト効率の高い方法を提供します。デバイスを使用するために必要なのは、電源、イーサネット、および動画ソースに接続することだけです。その後、AWS マネジメントコンソールにアクセスできる場所ならどこからでも、Link デバイスを制御および監視できます。AWS Elemental Link は、オンプレミスでの運用に必要な機器のコストと複雑さを軽減しながら、ライブ動画ストリームの品質と信頼性を向上させます。



メリット

迅速かつ簡単なセットアップ

AWS Elemental Link は、AWS アカウント用に事前に設定された状態で出荷されます。デバイスを電源、IP ネットワークおよび動画ソース (3G-SDI または HDMI) に接続するだけです。接続されると、サムネイル画像の送信を自動的に開始しライブストリーミングの準備ができています。AWS マネジメントコンソールで AWS Elemental MediaLive のソースとして使用できます。

小型でポータブル

AWS Elemental Link は、消費電力を最小限に抑え、冷却要件を満たした小型のポータブルデバイスです。重さが 1 ポンド (450 g) 未満で、ライブ動画をクラウドに接続する必要がありますあらゆる場所へ持ち運ぶことができます。Link デバイスは、発熱が最小限に抑えられファンレスで静音動作するため、スタジオや会議室などの低ノイズが求められる環境で実用的に使用できます。

デバイスのリモートでの管理および監視

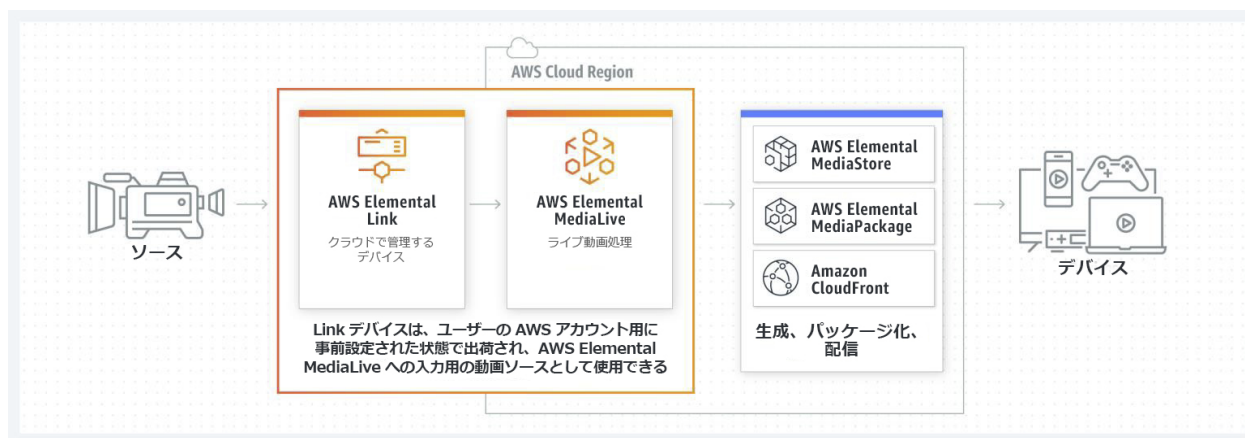
AWS Elemental Link では、AWS マネジメントコンソールを使用してライブイベントワークフロー全体を制御します。一元的な制御地点から世界中のどこにいても複数のデバイスを管理および監視できるため、技術オペレーターをイベントサイトに派遣してライブストリームをセットアップする必要はありません。

高画質

クラウドに送信される動画の品質を最大化し、ネットワーク状態の予測不可能な性質に対応できるように設計されています。Link デバイスは、利用可能な帯域幅に継続的に調整する高度な動画圧縮システムを使用して、あらゆるネットワーク条件の下で可能な限り最高の動画を配信します。

コスト効率

Link デバイスは一台 995 USD です (通関費用、関税、税金、送料除く)。AWS Elemental Link はブロードキャストグレードで、従来かかっていた数分の 1 のコストでオンプレミスのライブ動画ソースを AWS Elemental MediaLive に伝送します。セットアップは簡単でリモートから管理および運用できます。





筐体

外形寸法 (W x H x D)	10.80cm x 3.81cm x 12.70cm
重量	0.45kg (ユニット) 1kg (総重量)
ECCN	EAR99
USHIT コード	8517.62.0010

電源

消費電力	10 Watt (最大)
熱量	34.12 BTU / hr (最大)
周波数	50~60Hz
入力電圧	100~240V AC

環境

動作環境条件	0~45°C (32~113°F) 最大85% RH (結露しないこと)
保管環境条件	40~80°C (40~176°F)
ノイズレベル	0 dBA (最大)
電磁準拠	EN55032:2015 EN55024:2010
安全準拠	EN 60950-1-A2:2013 RoHS 2011/65/EU REACH 1907/2006/EU

システム

システム管理	AWS Elemental MediaLive コンソール
インターフェース	1x 1GbE RJ45 PoE 1x 3G-SDI 1x HDMI 1x USB 2.0 モーメンタリー スイッチボタン

※ 製品の仕様は予告なく変更することがあります。



対応入力形式

MediaLive 転送形式	<ul style="list-style-type: none"> 4:2:0 8-bit プログレッシブ
3G-SDI インターフェース	<ul style="list-style-type: none"> 1920x1080p @ 23.98fps, 24fps, 25fps, 29.97fps, 30fps, 50fps, 59.95fps, 60fps 1280x720p @ 50fps, 59.94fps, 60fps 1920x1080i 25fps, 29.97ps, 30fps (フィールドレート50/59.94/ 60) 576i 25fps (フィールドレート 50)
HDMI インターフェース	<ul style="list-style-type: none"> 480i 29.97fps, 30fps (フィールドレート59.94 / 60) 1920x1080p @ 23.98fps, 24fps, 25fps, 29.97fps, 30fps, 50fps, 59.95fps, 60fps 1280x720p @ 50fps, 59.94fps, 60fps 1920x1080i 25fps, 29.97ps, 30fps (フィールドレート 50/59.94/60) 576i 25fps (フィールドレート 50) 480i 29.97fps, 30fps(フィールドレート 59.94 / 60)
メタデータ	<ul style="list-style-type: none"> タイムコード (SMPTE 12M)、クローズドキャプション (SMPTE 334)、テレテキスト (OP-47)、広告挿入 (SCTE-104)
対応オーディオ	<ul style="list-style-type: none"> 8 エンベデッド オーディオ チャンネル 32 kHz, 44.1 kHz, and 48 kHz
コーデックおよび トランスポート	<ul style="list-style-type: none"> 効率的で高度な動画圧縮 すべてのストリーミングメディアは、ARQ プロトコルにて暗号化されて転送 対応ビットレート: 0.5~50 Mbps ビットレート制限は AWS Elemental MediaLive で設定可能 チャンネル調整アルゴリズムにより、ビットレートは利用可能な帯域幅に基づいて調整

ハードウェア

ネットワーク要件	<ul style="list-style-type: none"> ポート 443 : インターネットへのアウトバウンド接続可能 ポート 2088 : インターネットへのアウトバウンド接続可能 ポート 123 : インターネットへのアウトバウンド接続可能 インバウンド接続 (ポートフォワーディング) は不要
IP プロビジョニング	<ol style="list-style-type: none"> DHCP 対応 (デフォルト設定) 静的な IP プロビジョニングは、次に記載する手順でデバイス上の UI を介してサポート



ボタンの機能

長押しする秒数	LED点滅回数 ⇒ ⇒	⇒ ボタンから手を離して以下に設定
5 秒	1回	DHCP
10秒	2回	静的 IP
15 秒	3回	デフォルトのパスワードに戻す

LEDの機能

LED	LED の状態	定義
電力	オフ	デバイスの電源がオンになっていない
電力	青	デバイスの電源がオンになっている
オンライン	赤で点滅	ネットワークで IP ゲートウェイが提供されていない
オンライン	赤	デバイスは、公共のインターネットに接続できない
オンライン	青	デバイスは、公共のインターネットに正常に接続された
オンライン	紫で点滅	公共のインターネットに接続されているが、ポート 123 が閉じられており機能が制限されている
AWS Link	赤	デバイスが AWS とリンクできない
AWS Link	青	デバイスと AWS とのリンクが成功した
ストリーミング	赤	動画ソースがロックされていない
ストリーミング	紫で点滅	有効な動画入力がなく、サービスはライブストリーミング中
ストリーミング	紫	動画入力は有効だが、ストリーミングされていない
ストリーミング	青	動画入力が有効で、サービスはライブストリーミング中